

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 272 号	氏名	笹井 有美子
学位審査委員	主査 山下 俊一 副査 松山 俊文 副査 高村 昇		
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 本研究は、TSH 受容体 A サブユニットをコードしたアデノウイルス感染実験による樹状細胞マウスバセドウ病モデルの発症率改善を目指したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価 BALB/c マウス骨髄細胞からの樹状細胞の樹立とアデノウイルスに組み込んだ TSH 受容体 A サブユニットの作成など、動物実験および遺伝子組換え操作は妥当であり、その後の感染実験、細胞移入実験に加えて、ホルモン測定や抗体価の評価法、甲状腺病理組織検討など研究手法も妥当である。</p>			
<p>3. 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、TSH 受容体 A サブユニット樹状細胞免疫による抗原提示能力が、TSH 受容体全長を用いた場合よりも効率的にバセドウ病類似病態を発症した。その解析・考察も妥当であり、臓器特異的な自己免疫疾患研究への貢献が大であり、甲状腺学の進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文はバセドウ病発症機構の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			